

Net Volante

ネットボランチ



さらに、進化したルータ。

new
TA/REMOTE ROUTER
RTA52i
ISDN

Net Volante

TA/REMOTE ROUTER
RTA52i

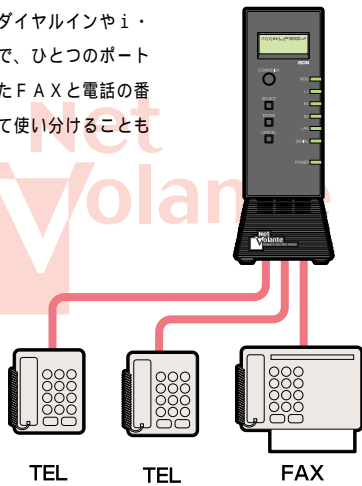
*サッカーでは、チームの攻守の司令塔役を
Volante (ボランチ) と呼びます。
ネットボランチRTA52iは、スモールLANの司令塔です。

ニュースや旅行、
株式やアーティスト情報など
利用するとますます便利に
なってきたインターネット。使ってみるとや
められないメール。購入しやすくなった
パソコン。賢く電話を使えるISDN。
これらを組み合わせて活用するのに
役立ちたいネットボランチ
RTA52iです。

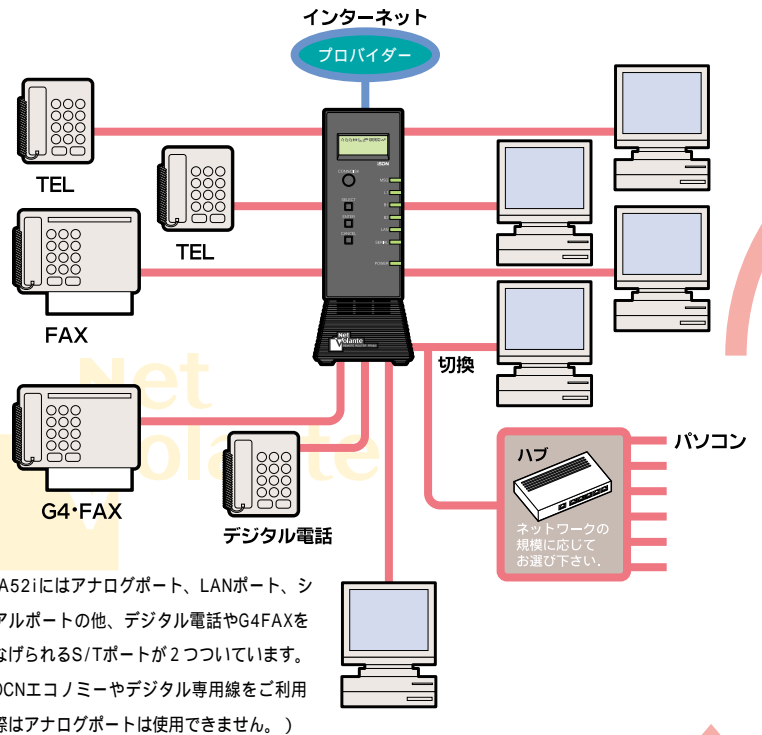


1 電話をつなごう。

RTA52iには電話やFAXをつなぐアナログポートが3つ。
どのポートからも受発信できます。(同時に通話できる
のは2つ)それぞれのポートにつなげた電話の間で内線
通話や、外からの電話の転送ができます。もちろんi・
ナンバーやナンバー・ディスプレイに対応しています。
さらにPB/モデムダイヤル
インに対応したFAX付電話
があればダイヤルインやi・
ナンバーで、ひとつのポート
に接続したFAXと電話の番号
をかえて使い分けることも
可能です。



3 全部のポートを使ったら...

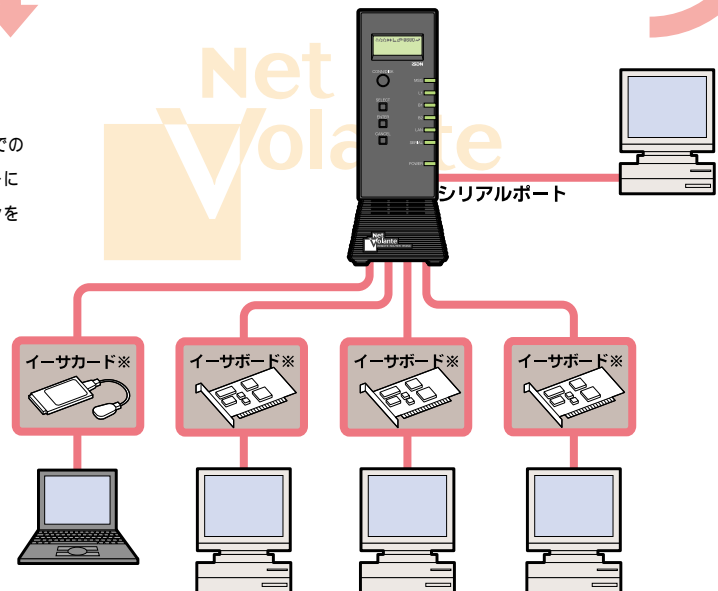


2 パソコンをつなごう。

RTA52iにはパソコンをつなぐためのLANポート(ハブ)が4つ。4台までの
パソコンをつなぐことができます。5台以上使いたいときにはLAN第4ポートに
もうひとつハブ(別途購入必要)をつけてそのハブに4台目からのパソコンを
接続して使えます。(ハブ第4ポートは、パソコン接続とハ
ブ接続、切替可)

LANポートにパソコンをつなぐにはデスクトップならイーサ
ボード、ノートブックならイーサカードが必要です。(
イーサボード、イーサカードは別途購入が必要ですが、パソ
コンの機種によっては最初からついている場合もありますの
でパソコンのマニュアルでご確認ください。)

もしパソコンは1台だけで、イーサボードやイーサカードが
なければシリアルポート(RS232C)に接続してRTA52iを
TAとして使うことも可能です。(パソコンにRS232Cポ
ートが必要です。)



LANも電話もインターネットも。よくばりコミュニケーション

4 設定しよう。

パソコンの設定とルータの設定。

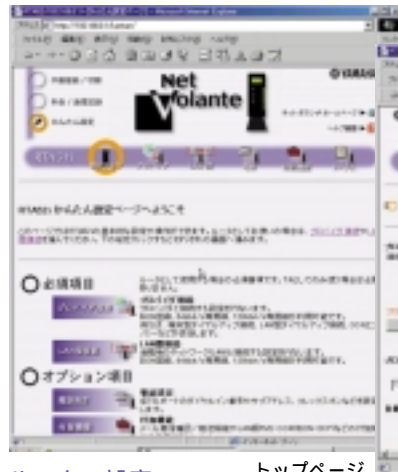
インターネットを利用するにはプロバイダへの接続のための設定を、TA接続の場合はパソコン側に、ルータ接続の場合はRTA52i側にしておく必要があります。ルータ側の設定は接続するパソコンごとに行う必要はありません。付属のCD-ROMに入っている「パソコンセットアップユーティリティ」を使うとパソコン側の設定がとても簡単に行えます。*注1

*注1. 「パソコンセットアップユーティリティ」はWindows95/98、MacOS8.0以降に対応しています。その他のOSの場合は、各OSでの設定機能をご利用ください。



電話機でアナログポートの設定

パソコンがなくてもとりあえず電話だけでISDNを利用したいとかアナログポートの設定にパソコンを立ち上げるのが面倒といった場合は電話機のプッシュボタンを使ってアナログポートの設定ができます。その際RTA52iの液晶画面に設定内容が表示されます。

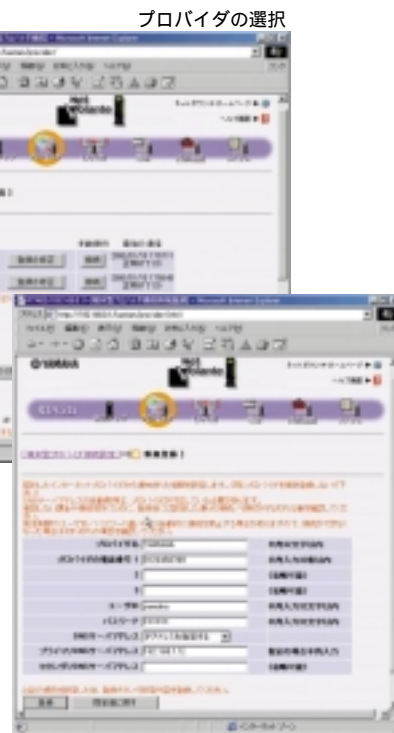


ルータの設定

ブラウザで簡単設定

電話の設定やインターネットを利用するためのプロバイダへの接続設定、メール転送、基本的なLAN間接続などの設定がブラウザにより簡単にできます。

トップページ



プロバイダの選択

各プロバイダの設定



前面設定ボタンでできること

メール転送や電話転送のON/OFF、自動接続のON/OFF、プロバイダ接続/切断、液晶表示内容の切替、設定の初期化（自分で行った設定を全て消して工場出荷時の設定にすること）

その他の設定

ブラウザ画面で設定できない様々なルータの機能はルータコマンド、ATコマンド（TA用）、で設定できます。コマンドの説明は付属のCD-ROMにはいっています。

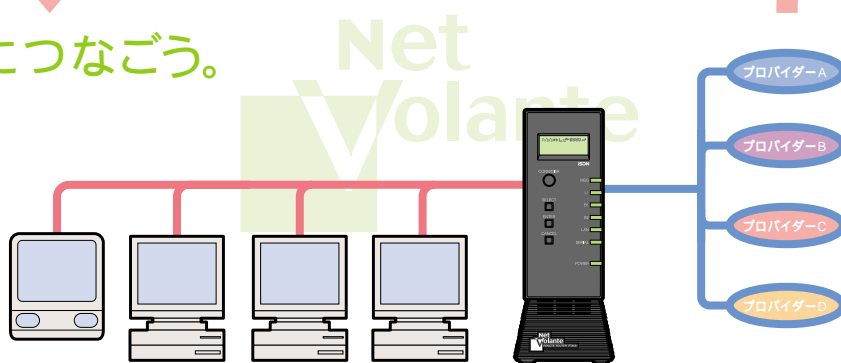


ブラウザで確認できる様々な管理情報

RTA52iのブラウザで回線使用料金情報や電話着信履歴（最大100件）、プロバイダ接続がうまくいかなかった場合のエラー理由などをみることができます。（回線使用時に回線側から通知される料金情報を利用して、割引サービスなどに加入している場合は実際に請求される利用料金と異なる場合があります。）

5 インターネットにつなごう。

RTA52iはISDNのBチャンネル1回線（64 kbit/s）を使ってLANポートにつながった複数のパソコンでインターネットを利用することができます。もちろんそれぞれのパソコンが別々のホームページを見ることができます。Bチャンネル1回線ごと別々に2つのプロバイダに同時に接続することも可能です。また、2つのBチャンネルを同時に一つのプロバイダに接続するMP接続（128 kbit/s）も可能です。



（RTA52iに接続される複数のパソコンのOSは、TCP/IPに対応していれば同じである必要はありません。）

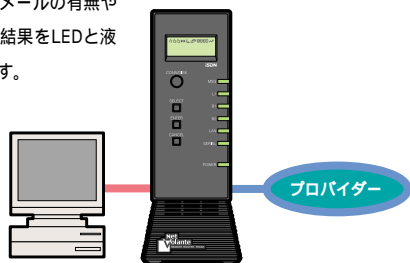
には、「ネットボランチRTA52i」。

ネットボランチは、ヤマハRTシリーズルータの技術を継承した、コストパフォーマンスの高いオールインワンルータです。

6 パソコンは、メールのためだけ...の方へ。

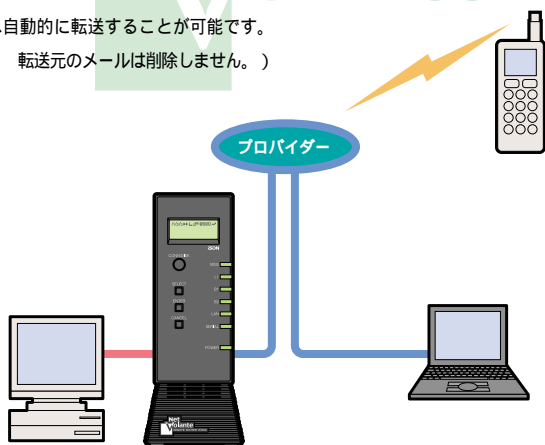
着信メール自動確認機能

設定した時刻にRTA52iが自動的にプロバイダに接続し新着メールの有無や数を確認します。確認結果をLEDと液晶で知ることができます。



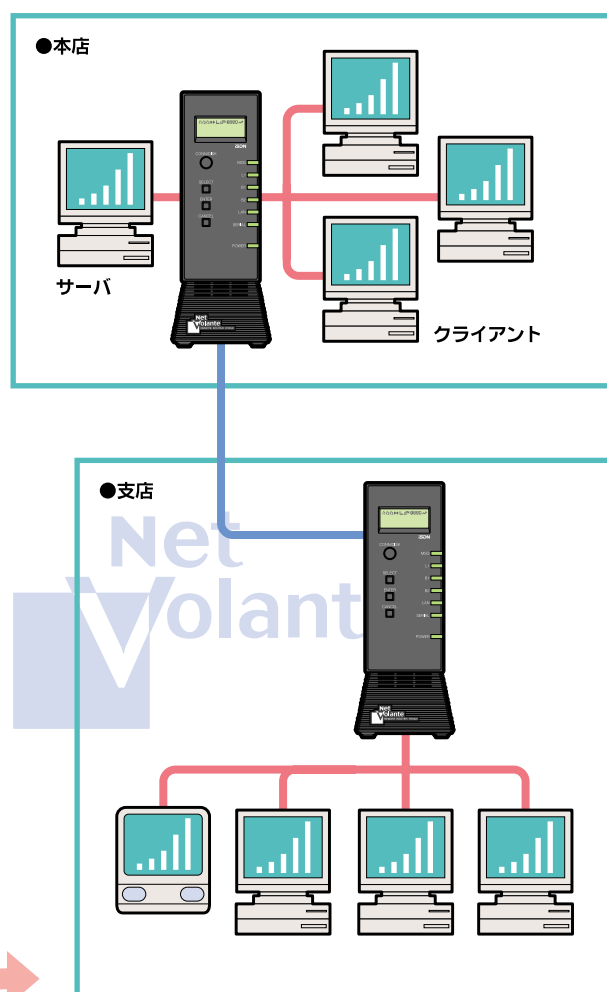
メール転送

着信メール自動確認機能で確認したメールを設定しておいたメールアドレスへ自動的に転送することが可能です。(転送元のメールは削除しません。)



8 RTA52iにつないだ複数のパソコン間でデータの共有をしよう。

RTA52iのLANポートにつないだパソコン同士はデータの共有が可能です。また、TCP/IPプロトコルにより回線をつなげたRTA52iに接続されたパソコンとのデータ共有も可能です。このときの設定はブラウザ画面で行うことができます。また図のようにRTA52i同士または相手がヤマハのRTシリーズルータであれば相手へのコールバックの要求を無課金で行うことも可能です。

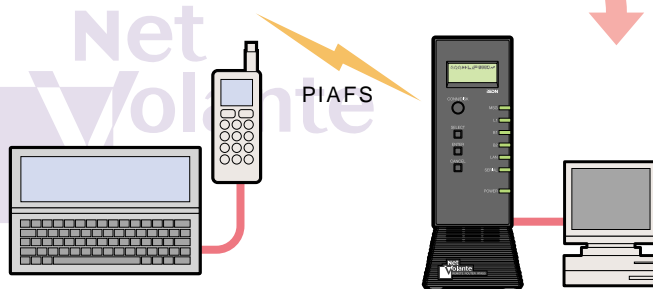


7 通信料金が気になる方へ。

RTA52iは通信時間、通信料金、発信回数を管理し、設定された時間や料金、回数になったらプロバイダへの接続をしないといった接続制限機能をもっています。接続/切断時に内蔵ブザーを鳴らすことも可能です。また累積料金をRTA52iがメールで通知する機能をもっています。

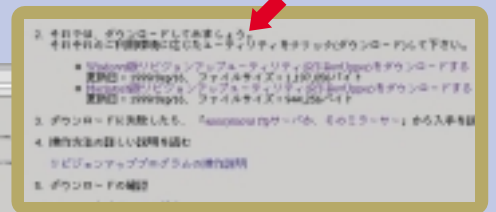
9 外出先から自分のパソコンのデータを見よう。

RTA52iはPHSのプロトコルPIAFS 32kと64kに対応しています。モバイルコンピュータにPIAFS対応のPHSをつけて外出先からRTA52iに接続されたパソコンに32kbit/sまたは64kbit/sでアクセス可能です。(携帯電話ではデータ送受信は行えません。)



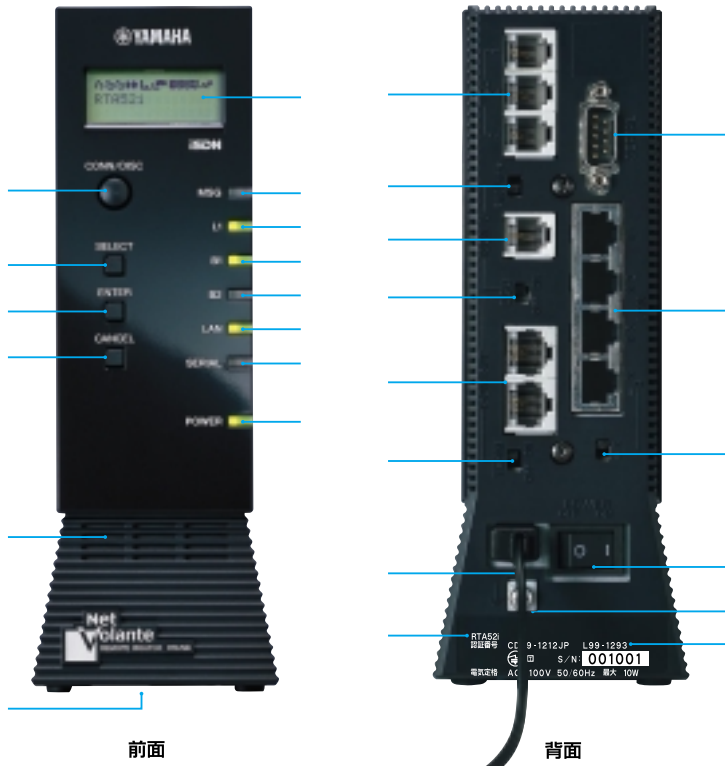
バージョンアップで、 いつでも最新機能を使いたい。

RTA52iの機能は本体内存ソフト(ファームウェア)の機能です。ネットボランのホームページから最新のファームウェアをダウンロードして、簡単にバージョンアップできます。これにより購入後もRTA52iの最新の機能を使うことが可能です。



(*画面はRTA50iのものです。)

<http://NetVolante.rtpro.yamaha.co.jp/>



前面

背面

設定/管理				
ユーティリティソフト*1	電話機(PB)から設定	簡易設定ボタン	液晶表示	通信履歴
累積課金情報メール通知	SYSLOG	接続時間表示	接続/切断通知ブザー	ブラウザ設定
ルータ				
データ圧縮	アドレス変換(MPLP対応)	DHCP	PIAFS 32k/64k	BOD
リモートセットアップ	M P	RVS COM2000 (ISDN DCP)対応	複数プロバイダ選択	リモートアクセスサーバ
メール着信確認	メール転送	フィルタリング	接続制限機能(課金/時間/発信回数)	
TA				
BOD	M P	同期PPP 64/128	非同期 57.6	RVS COM 対応
アナログ				
i-ナンバー	ナンバーディスプレイ	PB/モデムダイヤル	発信者番号通知	ダイヤルイン
ボイスワープ	サブアドレス	疑似フレックスホン	内線転送	なりわけ
料金情報通知	内線通話	通信中着信通知	停電モード	疑似ナンバーリスト

*1 RTA52iパソコンセットアップユーティリティはWindows95,98, PowerMacintosh MacOS8.0以降対応その他のOSではマニュアル設定。

各部の名称と機能

■前面

ディスプレイ

ルータの状態やメッセージが表示されます。

CONN/DISCボタン(接続/切断ボタン)
プロバイダへのルータ接続を手動で切断したり、接続するときに押します。

SELECTボタン

本機のメニュー項目や設定項目を選択するときに押します。

ENTERボタン

選択したメニューや項目を決定するときに押します。

CANCELボタン

メニュー階層を戻すときに押します。

換気口

内部の熱を逃がすための穴です。上面や側面、底面にも開いています。

電池ボックス(底面)

停電時のバックアップ電源用電池を入れます。停電中でもTEL1ポートに接続したアナログ電話機が使用可能になります。

MSGランプ

登録したメールアドレスへメールが着信しているときに、点滅します。

L1ランプ

ISDNの回線状態を表わすランプです。回線が使用可能なときに点灯します。

B1ランプ

ISDN B1チャンネルの使用状態を表わすランプです。接続中は点灯、通信中は点滅します。

B2ランプ

ISDN B2チャンネルの使用状態を表わすランプです。接続中は点灯、通信中は点滅します。

LANランプ

LANポートの使用状態を表わすランプです。接続中は点灯、通信中は点滅します。

SERIALランプ

シリアルポートの使用状態を表わすランプです。通信中は点滅します。

POWERランプ

電源の状態を表わすランプです。電源がオンのときは点灯、停電でバックアップ電源(電池)により動作しているときは点滅します。

■背面

TELポート

アナログの電話機やFAX、モデムを3台まで接続できます。停電時はバックアップ電源により、TEL1ポートのみ使用可能となります。

極性反転スイッチ

ISDN Uポートの極性を反転させるスイッチです。

ISDN Uポート

NTTのISDN回線とモジュラーケーブルで接続します。

DSUスイッチ

内蔵のDSUを切り離すスイッチです。内蔵のDSUを使うときはON側、使わないときはOFF側にします。

ISDN S/ポート

ISDN機器を接続するポートです。内蔵のDSUを使わない場合は、このポートとDSUまたはISDN機器をISDNケーブルで接続します。

ターミネータスイッチ

ISDN機器のターミネータ(終端抵抗)をオン/オフするスイッチです。ISDN S/ポートに何も接続していないときはON側、他のISDN機器を接続しているときは、終端の機器のターミネータを1つだけONにし、その他の機器はすべてOFFにします。

SERIALポート

パソコンのシリアルポート(モデムポート)と付属のシリアルケーブルで接続します。

LANポート

パソコンのLANポートまたはHUBのポートとLANケーブルで接続します。

LANスイッチ

LANポートの極性を切り換えるスイッチです。パソコンやハブのUPLINKポートと接続するときはx側、ハブのUPLINK以外のポートと接続するときは=側にします。

電源コード

AC100V,50/60Hzのコンセントに接続します。

POWERスイッチ

電源をオン/オフするスイッチです。

アース端子

アース線を接続します。必ず接続してください。

認証機器名

ISDN回線の申し込み時には、ここに表示されている機器名を記入します。

認証番号

ISDN回線の申し込み時には、ここに表示されている認証番号を記入します。2つ両方を記入してください。

LANインターフェース	10BASE-T 4ポート(第4ポートはストレート/クロス切替可) 端子形状 8ピンモジュラージャック
WANインターフェース	BRI.U点 1ポート、端子形状6ピンモジュラージャック BRI.S/点 2ポート、端子形状8ピンモジュラージャック、 終端抵抗切り替え、対応回線 INSネット64、高速デジタル回線 OCN、ODN、DION、シリウスなど(エコノミーを含む)
シリアルインターフェース	1ポート、RS232C、DTE速度 230.4kbit/s V110速度 57.6kbit/s (TAおよびルータ設定で使用可)
アナログインターフェース	3ポート(ブランチなし) 6ピンモジュラージャック、供給電圧-48V
液晶ディスプレイ	14文字×2行+ピクトグラム(バックライト付)
前面操作ボタン	4個(接続/切断、メニューセレクト、エンター、キャンセル)
背面スイッチ	5個(極性切り替え、DSU切り離し、終端抵抗切り替え、 ハブ第4ポート切り替え、電源)
LED	7個(MSQ(メッセージ)、L1、B1、B2、LAN、SERIAL、POWER)
DSU	内蔵、切離スイッチ、極性反転スイッチ、折返し機能
電源	AC100V、50/60Hz、消費電力 最大10W、電源スイッチ
停電バックアップ	単3アルカリ乾電池8本(停電時TEL1ポートのみ使用可)
外形寸法	幅74(底面)×60(天面)×高さ197×奥行130(突起物除く)mm
質量	800g(本体のみ、乾電池除く)
動作環境	周囲温度0~40 周囲湿度15~85%(結露しないこと)
同時接続、接続設定箇所	2対地 500箇所
ルーティング対象プロトコル	IP
ルーティングプロトコル	RIP/RIP2
WANプロトコル	PPP/MP、BACP
セキュリティ	PAR、CHAP
操作、設定方法	WWWブラウザのGU画面、コマンド(シリアルまたはtelnetで入力可) プッシュホン式電話機(アナログポートのみ)、前面設定ボタン

プログラムアップデート	バージョンアッププログラム、TFTPによるダウンロード (最新プログラムはホームページ上に公開)
ロギング機能	メモリに蓄積、SYSLOGでの出力、WWWブラウザで閲覧可能
ログの内容	ISDN制御、フィルタリングされたパケット、料金情報など
データ圧縮	Stac LZS VJC
アドレス変換	NAT、IPマスカレード
ルータ機能	PIAFS 32k/64k対応、コールバック、無課金コールバック*1、 DHCP、RVS-COM2000対応*2、自動接続/切断、 複数プロバイダ選択、2プロバイダ同時接続*3 接続制限(課金額*4、発信回数、接続時間)、リモートアクセスサーバ、 テレホーダイ対応、無通信監視、SysLog 擬似LAN、簡易DNSサーバ、 メール自動確認、メール転送など
TA機能	RVS-COM2000対応*2、非同期/同期変換
アナログ機能	フレックスホン対応、ボイスワープ対応、ナンバーディスプレイ対応、 ナンバー対応、ダイヤルイン、グローバル着信、識別着信、 ナンバーリクエスト対応、擬似コールウエーティング、擬似3者通話、 擬似着信転送、擬似通信中転送、鳴りわけ、無鳴動着信、 PB/モデム・ダイヤルイン、内線通話、内線転送 など
電波障害規格	VCCIクラスA
認証番号	CD99-1212JP/L99-1293
付属品	ISDN回線ケーブル(3m)、RS232Cケーブル(1.5m)、 LANケーブル(3m)、9P-8Pマ変換ケーブル、 CD-ROM RTA52iパソコンセットアップユーティリティ、 スタートマニュアル、ユーザーズマニュアル、設定例集、 コマンドリファレンス) 接続ガイド、スタートマニュアル、ユーザーズマニュアル、 アンケートハガキ、保証書

- *1. 無課金コールバックは受ける側がヤマハネットボランチまたはRTシリーズルータの場合です。
- *2. 本機をご使用には別途、独RVS社のRVS-COM2000をご購入ください。
- *3. 2プロバイダ同時接続中はアナログ機能をご使用になれません。
- *4. 課金情報はNTT回線より流される情報であり実際に請求される利用料金と異なる場合があります。
RTA52iパソコンセットアップユーティリティは、Windows95/98、PowerMacintosh MacOS8.0以降対応。
Stac LZSはHi/In社より技術導入しています。
カタログ記載の社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
価格には本体設置費用、消費税は含まれておりません。

ご使用に関するご注意：
本製品は日本国外での使用については一切のサポート、保証をしておりません。
通信用アンテナの近くなど周囲環境によっては電話、テレビ、ラジオなどに雑音が入ることがあります。
ご使用の電話、ファックス、モデムなどのアナログ機器によっては本製品との接続によりアナログ機器が正常に動作しない場合があります。
ルータの設定やパソコン内のソフトによる意図しない接続で通信料金がかかる場合がありますので十分ご注意ください。
インターネット接続設定には事前にプロバイダと契約しておく必要があります。

RVS-COM 2000

RVS-COM2000 (faxソフト)に関するお問い合わせ先
メガソフト株式会社
TEL06-6386-2072
http://www.megasoft.co.jp



安全に関するご注意

本製品の設置、ご使用に際しましては製品に添付しております取扱説明書などに記載されております注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。

ネットボランチRTA52iのお問い合わせ



0120-808384



(土・日・祝日を除く午前9時~12時・午後1時~5時)

ネットボランチホームページには詳しい情報や最新バージョンプログラムが掲載されているほか、メールお問い合わせページも用意されています。

<http://NetVolante.rtpro.yamaha.co.jp/>

本カタログ記載の仕様は、予告なく変更する場合があります。